

病院勤務医の負担軽減に対する取り組み

取り組み事項	具体的な取り組み内容
・入退院支援Cの稼働	入院される際のオリエンテーションについて、担当の専門看護師等よりご説明をさせていただきます。
・短時間正規雇用の医師活用	時短勤務の医師の雇用促進を行い、手術や当直を行う常勤医の負担軽減に努めます。
・交代勤務制の導入	当直勤務が連続しないこと。当直の翌日に予定手術のシフトが組まれないよう努めます。
・前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の休息時間の確保	勤務時間と次の勤務時間の間のインターバルを確保し、勤務医の休息時間を確保します。
・病棟配置薬剤師の設置について	病棟に薬剤師を配置し、入院される患者様の持参薬の確認を行わせていただきます。
・専門性の高い人材育成、認定看護師の研修状況	認定看護師の採用を行い、医師との業務分担・補助を促進します。
・医師事務作業補助者の配置	外来各診療科に配置を行い、医師の診療サポートを行います。
・MSW(医療ソーシャルワーカー)の配置	外来・入院における医療相談窓口としての機能を担っております。入院患者様に適切な対応がとれるよう十分な人員配置を目指しております。
・産休・育休体制	育児時短制度等を利用いただき、しっかりと出産・育児に専念できる体制を整えていきます。
・外来縮小の取り組み	紹介状を持参していない初診患者には選定療養費を設定し、初診時の紹介状の持参を促させていただきます。

2025年4月18日
国際医療福祉大学病院